

未来へ(東中だより)

第22号(最終号) 令和5年3月24日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ

「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL:0952-52-2529 Fax:52-8184

<https://www.education.saga.jp/hp/higashifuri-j/>

ともに高め合うステージへ

3月24日 修了式

東中生みんなで頑張る

HGS!

H...表情豊かに よい挨拶!

G...学力高める 時間の管理!

S...精一杯の 自問清掃!

3月は早く過ぎると予想はしていましたが、こんなにも早く修了式の日が来るとは思いませんでした。あっという間の年度末です。

3月19日(日)に吉野ヶ里歴史公園で、生徒がボランティア活動をしてくださいました。ペットボトルのキャップを使ったアート作品の制作でしたが、そのお礼とお褒めの言葉が、公園事務所や西九州大学の先生から寄せられ、大変幸せを感じる月曜日でした。そこで、「幸せ」をキーワードにして、以下のような話をしました。(一部要約)

数年前にテレビで「幸せ」をテーマにしたドキュメンタリー番組がありました。何を優先し決定することが、自分の人生を豊かにし、幸福度を高めるのかについて長期にわたって研究したハーバード大学の研究が紹介されました。研究対象者は、当時ハーバード大学2年生の男子学生と、ボストンの極貧環境で育った少年たちの合計 724 人でした。この研究は 1938 年に開始され、75年間の追跡研究でした。毎年、質問票による調査や本人とその家族への聞き取り、医療記録などが続けられました。

研究対象者たちは、それぞれの人生を歩きました。工場職人、レンガ職人、医師、弁護士など就いた職業はさまざまです。そのうちの 1 人はアメリカの大統領にもなったということです。その一方で、アルコール中毒症になった人、重い病気を患い、幸福を感じるのが難しい人生を送った人もいました。

75年間の研究で、これこそ幸せのカギであるとはっきりわかったことは、「人間関係」の大切さです。人との良い関係が人を幸福にし、健康を維持するということでした。4代目の担当教授は、「孤独は命取り」とも表現しています。孤独な生活をしている人は幸せを感じにくく、その人が中年になったとき健康の衰えが早かったそうです。脳機能の減退も早く始まり、孤独でない人に比べて寿命は短かったとのことでした。

人は、性格も生活様式もさまざまです。時には自分とは違う考えにつきあたり、ぶつかり議論することもあるでしょう。でも健全な議論は、孤独になったり無視をしたりするよりも何倍も良いことです。議論し、意見をすり合わせ、気持ちの上では納得はできなくても、人間の知性で理解していくべきです。感情をコントロールしていくことができこそその知性だと思えます。

スポーツでその良い例が時折見られます。先日 WBC で侍ジャパンはアメリカに競り勝ち、世界一になりました。負けず嫌いの大谷選手はアメリカのキャプテン、トラウトに闘志をむき出しにして投げ、三振に切って取りました。トラウトは悔しくてたまらなかったことでしょう。しかし、試合の後に抱き合っている写真がありました。

良い人間関係を築こうとする人。友だちが喜ぶ顔を見て、自分も嬉しくなり、友達の困った顔を見てどうしたんだろうと相談に乗る。そんな普通のことができる人は、幸せな人生を送る可能性の高い人だと思います。

この2年間、本校の学校教育目標を「未来へ 知性・感性・耐性を 共に高める生徒の育成」と掲げてきました。この宇宙の片隅で生を受けた者として、「共に」生き、「共に」高められる関係を築くことができる。そういう生き方ができれば、「ああ幸せな人生だなあ」となるはずです。

4月7日の始業式には、3年生へ、2年生へとステップアップする皆さん。「共に高める」意識を持ち、春休みを大切に過ごして、新しいステージに進んでください。



マナー検定

1年生・2年生

2月24日に2年生、3月16日に1年生のマナー検定を行いました。目的は、「社会生活では適切なマナーが必要なことを知る」、「望ましい話し方や作法を学ぶ」、「自己を見つめる力や夢・希望に向かう力を高める」ことです。

校長室と被服室を使って、高校や企業の面接のような形をとって行いました。入室態度、声の大きさ、着席姿勢、立ち姿、礼法、言葉遣い、回答内容の7つの観点で審査し、6点以上が合格です。

今年度は全員が合格点に達し、数名が満点をとることができました。どの生徒も「生徒行動モットー」である「H・G・S」についてしっかりと答え、さらに自分の夢や目標について語ることができていました。



1年 職業人に学ぶ会

2月28日に1年生が職業人の話を聞く機会を持ちました。昨年に引き続き、1番目に「あいちゃん農園」の森田浩文様に話をいただきました。「仕事は人さまのためにするもの」という印象的なお話もあり、生徒は集中して話を聞いていました。本校の先輩でもある森田様の生きざまをしっかりと受け止めていたようでした。



2番目には、九州アカデミー学園の総務課長で歯科技工士でもられる石橋光法様に、歯科衛生士からはり灸師まで、様々な職業について説明を頂きました。生徒からの活発な質問に、「生徒に元気を頂きました。」と感動されていました。

3番目には、教職に関心を持つ生徒がいるということで、校長である森田が、「どのようにしたら教師になれるか」「教職員採用試験の内容」などを話しました。後でもらったお礼の手紙を読むと、「今までで忘れられない生徒」の話が印象に残っていたようでした。

1年生の職業に向ける思いや、これからの学校生活に向ける思いが高まるきっかけになったことが大変嬉しく感じられました。

<表彰 おめでとう> (敬称略)

○学童美術展 県審査

準特選 池田和香

入選 光益優士 篠原 夢 福光月那

○佐大カップ軟式野球大会

B パート優勝 軟式野球部

○吉野ヶ里町マラソン大会

中学生男子の部 1位 小池侃央

中学生女子の部 2位 三井所実咲 3位 吉村彩芭

4位 川崎柑奈 5位 米倉加純

6位 中島彩花

○佐賀県新年書き方会

硬筆 入選 山口実希

○佐賀県中学生ものづくり教育フェア

Ⅱ部門 入選 森山夏帆



○皆勤賞(1年間)

1年 泉里希彩 川崎柑奈 久保山葵 中尾真菜

中島彩花 中山一紀 廣瀬武琉 光石虎太郎

西 音羽 森 結生 牟田口優依

2年 泉 優太 北嶋蒼一郎 中村太翼 三井所実咲

池田和香 井上輝琉 片山 漣 長野望虹奏

堀田憲生 牧 日菜 湯川愛音

○町教育委員会表彰

学芸賞 徳安那南 山口実希

創造賞 中島菜奈 豊田稟心

体育賞 宮原澄羽 門田大翔 吉富愛歌

勤労賞 北嶋蒼一郎 池田和香 中尾真菜

読書賞 井上陽和 中島あおい

明朗賞 山本莉聖

奉仕賞 光益優士 森山夏帆

☆辞任式 お世話になりました☆

この度の人事異動で、東脊振中をあとにすることになりました。期間の長短はありますが、素晴らしい生徒・保護者の皆様に出会えることができ、感謝しております。地域の皆様のご健勝と、東脊振中の益々の発展を、祈念申し上げます。

校長 森田直樹(定年退職)

教諭 吉田喜美子(定年退職・再任用)

教諭 重松由理(三田川中へ)

教諭 小出 享(大和中へ)

教諭 川原千恵子(鳥栖西中へ)

事務主任 城野和利(三田川中へ)

講師 徳久京吾(神埼中へ)

講師 石松 凌(龍谷高へ)

事務補 槇 百恵(退職)

司書補 岩下結香(退職)

支援員 平山 勝(退職)

用務員 田中成治(退職)

講師 中島真紀子(退職)

